

利尻礼文サロベツ国立公園の自然環境(自然環境保全基礎調査の結果から)

○特定植物群落(選定基準(\*)を満たし選定された群落)

		面積(ha)
1	礼文島北方植物群落	1,220
2	利尻岳高山植物群落	2,613
3	稚咲内砂丘林及び湖沼群	1,776
4	サロベツ原野	3,540
5	稚内～抜海丘陵ササ草原	7,850の一部

(第2-5回自然環境保全基礎調査・特定植物群落調査)

○非改変湖沼(湖岸の人為的改変がない湖沼)

	非改変湖沼数	湖岸線5km以上
全国	210	15
北海道	127	14
利尻礼文サロベツ	9	4
阿寒	8	2
釧路湿原	2	1

(第4回自然環境保全基礎調査・湖沼調査)

湖岸線5km以上の非改変湖沼

	湖岸線延長(km)
パンケ沼	7.5
ジュンサイ沼	7.0
長沼	6.4
ペンケ沼	5.8

○海岸の状況

	割合(%)					全延長(km)
	浜(泥、砂、礫、磯)	海食崖等	半自然海岸	人工海岸	河口部	
全国	26.59	26.50	12.97	32.99	0.95	32,799
北海道	40.60	15.60	18.46	24.22	1.11	3,143
全国立公園(海岸あり)	24.01	38.74	10.62	26.27	0.36	9,076
利尻礼文サロベツ	54.47	31.41	4.82	9.18	0.13	103

(第5回自然環境保全基礎調査・海辺調査) ※H16の国立公園拡張前にまとめられたもの;北方領土は含まれていない。

○動物の確認種数(国立公園内で確認された種数)

	哺乳類	両生爬虫類	淡水魚類	チョウ類	トンボ類
全国平均	18.6	6.3	16.3	63.8	13
北海道平均	18.5	2	12	36.7	10.8
利尻礼文サロベツ	12	4	12	0	0
全国最多	富士箱根伊豆	富士箱根伊豆	富士箱根伊豆	秩父多摩	日光
道内最多	大雪山	利尻礼文サロベツ	釧路湿原	大雪山	釧路湿原

(第4回自然環境保全基礎調査・動物分布調査)

(\*) 特定植物群落の選定基準

- ・原生林もしくはそれに近い自然林
- ・国内若干地域に分布するが極めて稀な植物群落または個体群
- ・比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群
- ・砂丘、段崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- ・郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- ・過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- ・乱獲その他の人為的影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
- ・その他、学術上重要な植物群落または個体群(種の多様性の高い群落、貴重種の生息地となっている群落等)